



Point

作業ごとの注意点を確認して 高品質なメロンの生産を目指しましょう！



男鹿地区営農センター 佐藤 圭太

トンネル管理

果実の縦ネット発生期に冷たい生風が当たると、ヒルネットが発生して玉の肥大が抑制されます。やませの予報がでたら、トンネルの風上を閉めて生風を当てないように注意しましょう。

整枝作業等

秋田美人(BG-27)はかなり樹勢がよくないと1株から4果の収穫が厳しい品種であり、遊びづるが伸びてこない状態でしたら、3果付けで対応しましょう。また、秋田美人(BG-27)、(LG-15)の遊びづるは先端1本としてください。他の品種は樹勢の強弱に応じて1~2本としましょう。

かん水

樹が萎れない程度のかん水が重要です。特に黒土地帯のトンネルについては、着果後14日前後は果実の縦の長さが決まる大切な時期であるため、1株当たり3ℓ程度のかん水に努めましょう。

摘果、台座敷き

果実がリンゴ大の大きさになるまでに摘果を終了し、台座を敷きます。1株2本仕立てで4果以内の着果とし、2番果はつけないでください。台座を敷く際に、花落部に残っている花は除いてください。

病虫害防除

高温乾燥条件下では、ダニ類やうどんこ病などの発生が予想されるため、予防防除に努めましょう。

● 予防剤

薬剤名	対象病虫害	倍率	使用量	使用時期	使用回数
ダコニール1000	うどんこ病 べと病 つる枯病	700倍 700~1,000倍 1,000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前	5回以内
モベントフロアブル	アブラムシ類 ハダニ類	2,000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日	3回以内

● ダニ、アブラムシの発生が見られる場合

薬剤名	対象病虫害	倍率	使用量	使用時期	使用回数
ダントツ顆粒水溶剤	アブラムシ類 ハモグリバエ類	2,000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日	3回以内
ピラニカEW	ハダニ類	2,000倍	150~300ℓ/10a	収穫3日前	1回

● うどんこ病が見られる場合

薬剤名	対象病虫害	倍率	使用量	使用時期	使用回数
バルコート水和剤	うどんこ病 つる枯病	1,000倍	150~300ℓ/10a	収穫前日	5回以内